

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。  
 1.幅広い教養、判断、判断を持った社会で活躍できる人材を養成する。  
 2.経済学・経営系の専門知識を持つた人材を養成する。  
 3.現代社会に対する強い問題意識をもつた人材を養成する。  
 4.高いコミュニケーション能力(外国語によるもの含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。  
 5.地盤社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることのできる人間性豊かな人材を養成する。

学類OP(カリキュラム構成方針)

学類の学習成果(○:学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△:学習成果を上げるために履修することが求められる科目)											
【2018年度の入学者】准位には、国際基幹教育段階での学術的および技術力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に進みて、幅広い知識を得るとともに、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年2回の「アバイス教員と面談する機会が確保されている。2年次のQ1からQ3にかけては専門共通科目群を優先的に履修しつつ、2年次Q4からの演習配属に向かって専門性を養う。年2回にわたり教員と面談を行うことで、専門性をより深め、「ハーモニーラーニング」を実現する。国際化を重視するため、英語での演習を通じて、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3より4への実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一環には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。											
学類のカリキュラム											
科 目 番 号	授業科目名(2018年度入生)(この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)			学生の学習目標			学年	単位			

10101	学域GS言語I	The Humanities GS Language Course (H GSL I) aims at development of English proficiency achieved in the first-year GS language classes, as well as acquisition and practice of basic knowledge and skills which the majored academic discipline requires. This course is closely linked with the H GSL II, focusing more on understanding the discipline of the specific academic field than on its practical application.	Students who have completed the course will have English reading, listening, and grammar competency corresponding TOEIC score range: 550-600.	2	1	◎						◎	◎
10201	学域GS言語II	The Humanities GS Language Course (H GSL II) aims at further development of English proficiency achieved in the first-year GS language classes, as well as acquisition and practice of more advanced knowledge and skills which the majored academic discipline requires for presentation and essay writing. This course is closely linked with the H GSL I emphasizing the critical analysis of research subjects of the specific academic area.	Students who have completed the course will have English reading, listening, and grammar competency corresponding TOEIC score range: 600-650.	2	1	◎						◎	◎
13501	基礎統計学	経済分析に使われる統計手法の基礎を学習する。	基礎的な統計計算が一通り出来るようになる。	2	2		◎				△	○	○
13502	マクロ経済学 I	マクロ経済学を中心として経済学の基礎的な考え方や分析方法を学ぶ。	1. 市場経済の機能と基礎的なマクロ経済理論を体系的に身につけることができる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用し、議論を展開することができる。	2	2		◎	◎	○	○	○	○	
13503	ミクロ経済学 I	市場の仕組みを理解する	ミクロ経済学を学習する上で必要となる諸概念を理解することができるようになる。 1.需給曲線の概念を理解することができるようになる。 2.供給曲線の概念を理解することができるようになる。	2	2		◎	◎	△	△	○	○	
13504	Basic Economics A	To learn basic theories on economy.	To know concepts used in the courses of the school of economics.				◎						
13601	経済学史	経済思想の形成過程の検証	近代の成立とセットで成立した経済思想を学ぶことにより、近代の意味について考える。	2	2	○			○	○			
13602	日本経済論	現代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する	1. 戦後日本経済の変遷を理解できるようになる。 2. 事象を経験的に捉えることができるようになる。	2	2	○	◎		△	◎	△		
13603	経営学概論	経営組織論・経営管理論・経営戦略論とのこれらの関連領域における基礎的知識の伝授	経営組織論・経営管理論・経営戦略論とのこれらの関連領域における代表的概念と学説、理論的系譜を理解する。				◎	◎					
13604	Basic Economics B	To learn basic knowledge on economy.	To acquire knowledge prerequisite for the courses of the school of economics.				◎						
23001	経済学入門	ミクロ経済学やマクロ経済学を体系的に学ぶための下準備	1.ミクロ経済学やマクロ経済学で使われる基本的な用語の概念を理解する。 2.ミクロ経済学やマクロ経済学を学ぶために最低限必要な数学ツールを習得する。	1	1	○	◎						
23002	経営学入門	現代の企業とその経営に関する基本的な知識と基礎理論の紹介	現代の企業がどのように設立され存続し成長するかを理解する。	1	1	○	◎						
23003	情報処理	情報化社会の進展に伴い、情報処理能力を高めるために、パソコンを正しくかつ効率的に活用することを学ぶ。	1. 情報処理に対する基本的な知識を得ることができる。 2.パソコンの基本操作ができる。 3.最適化問題に対する解法ツールが操作できる。	2	1		△		○			○	○
23100	演習			3	8								
23200	卒業研究			4	2								
23210	海外語学研修A	海外滞在経験を通して、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	2				○		○		◎
23211	海外語学研修B	海外滞在経験を通して、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	3				○		○		◎

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)											
以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。											
1.幅広い教養、判断、判断を持った社会で活躍できる人材を養成する。 2.経済学・経営学の専門知識を持つた人材を養成する。 3.現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を解決し、解決する能力ももった人材を養成する。 4.高いコミュニケーション能力(外国語によるもの含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。 5.地盤社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることのできる人間性豊かな人材を養成する。											
学類の学習成果(△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが望まされる科目)											
【2018年度の入学者】准位に、国際基幹教育段階での学術的および学術力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に沿って、幅広い知識を得るとともに、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年に2回、アドバイス教員と面談する機会が確保されている。2年次のQ1からQ3にかけては専門共通科目を優先的に履修しつつ、2年次のQ4から3年次の演習配属に向かって順次変更。3年次には、専門知識をより深めつつ、専門知識を活用して問題解決能力を高め、コミュニケーション能力(特に英語)を磨くことを目指す。専門科目群における各専門科目群の専門科目を重視的に履修する。演習では各自の興味に応じて、専門分野を自由に選択し、課題研究活動や論文執筆等に取り組む。演習での研究活動を通して、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3より4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一環には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。											
学類のカリキュラム											
科目番号	授業科目名(2018年度入生)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年	単位	○	△	○	△	○	
23212	海外語学研修C	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国语でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	4			○		○	◎
23220	インターンシップ	就業体験を通して経済学、経営学を実践的に学ぶ	1. 通常の学習と就業体験との統合ができる。 2. ビジネスマナー等一般社会常識の習得ができる。 3. 就業経験ができる。	3	2	○				○	○
45100	マクロ経済学II	マクロ経済学に関する標準的な考え方や分析方法を体系的に学ぶ。	1. 標準的なマクロ経済理論を体系的に身につけ、それを論理的に説明できる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用できる。	2	2	○	○	○	○	○	
45101	ミクロ経済学 II	不完全競争と市場の失敗について理解する	1. 市場における企業行動の特徴と問題点を理解することができるようになる。 2. 不完全競争の考え方を理解することができるようになる。 3. 様々な経済問題を経済学の観点で理解することができるようになる。	2	2	○	○	△	△	○	
45102	政治経済学	資本主義経済の分析にあたって理論的・歴史的(制度論的)・政策的視野をもつべきことを学ぶ。	時代背景をしっかりと踏まえたうえで、政策的意義や理論のベースの妥当性を考えることができるようになる。	3	2	○		○	○		
45103	計量経済学	横断面データを用いた線形回帰分析手法	横断面データを用いた回帰分析手法が理解できるようになる。	3	2	○	○			○	○
45104	情報科学概論	情報化社会の進展の概要	情報化社会の進展のために、技術、政策、サービスの全体を理解する。	2	2	○	○			○	○
45105	実験経済学	マクロ経済学の知識を基礎に応用マクロ経済学を学びます。具体的には、実験経済学の理論と実験手法について学びます。	・経済学の理論を再確認し、実験の手順について理解することができます。 ・実験(積み重ね)により、データ解析について理解することができます。 ・自ら問題意識を持ち、実験計画や解析方法を計画することができます。	3	2	○	○		○	○	
45106	都市経済学	マクロ経済学の知識を基礎に応用マクロ経済学を学びます。具体的には、都市経済学の理論と実証分析について学びます。	・都市政策や建築の知識を理解して、説明ができます。 ・マクロ経済学の知識を取得し、都市経済学の考え方や手法を理解することができます。 ・問題意識を持ち、社会の問題をマクロ経済学の理論を応用して理解することができます。	2	2	○	○	○	○	○	
45107	金融論	金融取引の増加は人々の暮らしにどのような影響を与えるのか、金融取引と実物経済の関係を探るための基礎として、経済学を応用した金融取引や金融市場の考え方を講義する。	1. 金融の基本的概念を理解することができます。 2. 資本・企業の金融取引について理解を深めよう。 3. 金融取引における金融機関や金融制度の役割を理解することができる。	2	2	○	○	○	○	△	△
45108	財政学	現代財政学の基礎	現代の財政問題と理論的に明解するための基礎を修得する。	2	2	○	○	△		○	○
45109	公共政策論	財政学の現代的応用	財政のグローバル化など、現代の財政現象を理論的に理解できるようになる。	2	2	○	○	△		○	○
45110	地方財政論	地方財政の財源・経費の構造の背景にある政策枠組みを理解する	1. 国と地方の機能分担・財源配分の考え方を理解する。 2. 地方財政の歳入・歳出・地方債の構造を知る。 3. 赤字・財源構成の変化の背景にある政策動向を理解する。	2	2	○	△			○	○
45111	地方財政分析論	自治体財政分析に必要なデータ入手と分析方法を学ぶ	1. 自治体の財政データの入手方法を知る。 2. 赤字・歳入・地方債等のデータ分析手法を学ぶ。 3. 赤字と財源を闊闊と付けて自治体の財政構造を説明できるようになる。	3	2	○	△			○	○
45112	地域経済学	グローバル化のもとでの諸地域経済の現状、課題、発展戦略	1. 現代経済に関する地域的視点および地域経済分析の理念と方法を学ぶ。 2. 足下の地域の実態から経済社会の問題を理解する分析模索を養う。	2	2	○			○	○	○
45113	生活経済論	経済社会の変化と生活経済	1. 生活経済学の新たな問題提起を理解する。 2. 世界経済の中に、日本・地域での私たちの生活に関わる経済問題を、労働生活と消費生活の側面から、把握できるようになる。	3	2	○		○	△	○	○
45114	消費生活経済論	生活経済学の方法論	1. 生活経済学の理論的背景が理解できるようになる。 2. 生活環境のからみからで主体的に自立した社会人となるために必要な知識の関係を学ぶことになる。	2	2	○		○	△	○	○
45115	環境経済論I	環境問題に対する経済学的アプローチの紹介	1. 環境問題に対するマクロ経済学、マクロ経済学的・社会経済学、エコロジー経済のアプローチを理解する。 2. 環境問題に対する経済学的アプローチに対し、それとの対立の立場の違いを理解し、それにもついてアプローチ間の批判的検討を行なう能力を身につける。	2	1	△		○		○	○
45116	環境経済論II	環境問題に対する経済学的アプローチの紹介(社会経済学、社会生態システム論・レジリエンス論)	1. 環境問題に対する社会経済学、社会生態システム論・レジリエンス論のアプローチを理解する。 2. 環境問題に対する経済学的アプローチに対し、視点の違いの意味を理解し、それにもついてアプローチ間の批判的検討を行なう能力を身につける。	2	1	△		○		○	○
45117	環境経済政策論I	環境政策の歴史と原理、手法、主な政策の紹介(公害、地球温暖化・エネルギー)	1. 環境政策の原義を、効率性のみならず環境制約・資源制約の視点、そして公正などの社会的視点から理解できるようになる。 2. さまざまな環境問題の発生と克服の過程を社会経済的に理解できるようになる。	2	1	△		○		○	○
45118	環境経済政策論II	環境政策の歴史と原理、手法、主な政策の紹介(貿易と環境、社会生態システム論)	1. 農業と資本主義農業について、マクロ経済学・マクロ経済学に触れないが、農業問題に対する理解を深めよう。 2. 農作物栽培、農業の技術と経営のかかわり、農業立地・フォーランドシステムについて理解する。	2	1	△		○		○	○
45119	農業経済論I	農業問題に対する社会経済学的アプローチの紹介	1. 農業と資本主義農業について、マクロ経済学・マクロ経済学に触れないが、農業問題に対する理解を深めよう。 2. 農作物栽培、農業の技術と経営のかかわり、農業立地・フォーランドシステムについて理解する。	2	1	△		○		○	○

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)											
以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。											
1.幅広い教養、知識、判断を持った社会で活躍できる人材を養成する。 2.経済学・経営学の専門知識を持つた人材を養成する。 3.現代社会に対する強い問題意識をもつた人材を養成する。 4.高いコミュニケーション能力(外国語によるもの含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。 5.地盤社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることのできる人間性をもった人材を養成する。											
学類の学習成果(○:学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△:学習成果を上げるために履修することが求められる科目)											
【2018年度の入学者】准位に、国際基幹教育段階での勉学および経学力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に並んで、幅広い知識を得るとともに、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年2回、アドバイス教員と面談する機会が確保されている。2年次のQ1からQ3にかけては専門共通科目を優先的に履修しつつ、2年次のQ4から専門選択科目に向けた学習を進める。3年次には、専門知識をより深めつつ、専門知識を活用するためのコミュニケーションスキル(英語コースでは英語)、批判的思考力(国際政策系科目群およびグローバルマネジメント系科目群)等の柔軟な思考力を育む。専門選択科目における国際化・英語化の実施を進め、演習での研究活動を通して、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3より4の実施をめざして、経済学類で提供されている科目の一環には能動的学習法が導入されている。また、海外学習研修やインターンシップも単位化されている。											
学類のカリキュラム											
科目番号	授業科目名(2018年度入生)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年	単位	○	△	○	△	○	△
45120	農業経済論II	農業近代化に関する農業問題に対する社会経済学的視点の紹介	1.農業と資本主義発展について、社会経済学的に理解する。 2.農業と社会発展、農業の環境問題、食料問題について理解する。	2	1	△	○	○	○	○	○
45121	農業政策論I	農業政策の歴史的展開と手法の変遷	1.農業政策形成の歴史的背景とその変遷について、社会経済学的に理解する。 2.特に、価格・所得政策と構造政策について知見を広げ、農業、農村、農業経営のあり方について考えることができるようになる。	2	1	△	○	○	○	○	○
45122	農業政策論II	農業政策の歴史的展開と手法の変遷	1.農業政策形成の歴史的背景とその変遷について、社会経済学的に理解する。 2.生産経営の中の産業・農業・農業と環境の問題について知見を広げ、消費者の視点、地域社会の視点から農業・農村のあり方について考えることができるようになる。	2	1	△	○	○	○	○	○
45123	社会政策論 I	社会政策に関する理論、思想、歴史的展開、政策体系	・社会政策と歴史的背景を理解する。 ・今日の雇用・失業の現状について統計資料を用いて分析する力をつける。 ・雇用・失業に関する社会政策は歴史的にどのように発展してきたかについて理解する。 ・雇用・失業政策をめぐる今日の対抗について理解するとともに、望ましい雇用・失業政策について自らの見解を持てるようにする。	2	1	○	○	○	△	○	○
45124	社会政策論 II	社会政策に関する理論、思想、歴史的展開、政策体系	・社会政策形態と歴史的背景を理解する。 ・今日の雇用・失業の現状について統計資料を用いて分析する力をつける。 ・雇用・失業に関する社会政策は歴史的にどのように発展してきたかについて理解する。 ・雇用・失業政策をめぐる今日の対抗について理解するとともに、望ましい雇用・失業政策について自らの見解を持てるようにする。	2	1	○	○	○	△	○	○
45125	社会保障論 I	社会保障の概念、存立根拠、機能と役割、歴史、経済・財政とのかかわりなど、社会保障における総論部分の基本的な内容について取り上げる。	現代社会において社会保障の国民生活、国民経済とどのようにかかわり、いかなる役割を果たしているのかを理解する。	2	2	○	△	○	△	△	○
45126	社会保障論 II	医療保険、年金、介護保険を中心に、社会保障を構成する各制度の具体的な仕組みと現状及び課題について取り上げる。	社会保障の各制度について、具体的な仕組みを踏まえたうえで、それぞれの制度の政策課題について理解する。	2	2	○	△	○	△	△	○
45200	世界経済論	20世紀の世界経済の展開	20世紀以降の世界経済の展開と概要、経済理論、政治経済思想、豊かな国とそうでない国との関係性などを通して理解する。	2	2	◎	△	△	◎	○	△
45201	グローバル・エコノミー	21世紀・発展途上国経済を巡る世界の動き	1.発展途上国を中心に世界経済の現状について学ぶ。 2.公的セクター、企業セクター、市民社会セクターの3つの視点から発展途上国をめぐる動きについて理解する。 3.世界経済および発展途上国経済を理解するための統計とその利用方法について理解する。	2	2	◎	△	△	◎	○	○
45202	アジア経済論	アジアの経済発展のダイナミクスを、金融経済、国際経済、開発経済の視点から講義する。	1.アジア地域の経済発展について、貿易・為替・金銀・政府の役割を理解することができる。 2.アジア地域における経済統合化について、その特徴や地域内各国経済への影響を理解することができる。	3	2	○	○	◎	○	○	△
45203	国際金融論	国際金融の基礎構造	国際金融の基本的概念を整理し理解する。	2	2			◎		○	
45204	国際金融史	国際金融史と現状の検討	現行制度の沿革にある国際金融システムの変遷を理解し、変容し続ける現在の世界的課題を考察する。	2	2					○	○
45205	国際経済学IE	The basic theory of International Economics	This class is designed for students to understand the basic theories in international economics.	2	1		○	○	◎	△	○
45206	国際経済学2E	Policy Analysis in International Economics	This class is designed for students to apply the basic theories in international economics to policy analysis.	2	1		○	○	○	△	○
45207	国際政治経済論	国際公共財に関する各論	国際法、国際機関、対途上国援助など、現代世界における主要な国際公法について、具体的に理解することができる。	2	2	◎		○	○	○	○
45208	国際公共政策論	ヘゲモニー国家を中心に見る近代国際政治経済の歴史と国際関係理論	1.国際政治経済秩序の根幹を成す「国際公共財」につき、①「国際公共財」とは何か、②「国際公共財」の形成・発展過程について理解することができる。 2.国際政治経済学の代表的理論について理解することができる。	2	2	◎		○	○	○	○
45209	比較地域経済論	代表的な国際公共財としての国際法と国際機関	国際経済を中心とした国際法、および国法を始めとする国際機関、についてそれら機能や効用、問題点を理解することができる。	2	2	○			○	○	○
45210	国際貿易論1E	The basic theory of International Trade	This class is designed for students to understand the basic theories in international trade	2	1		○	○	○	△	○
45211	国際貿易論2E	Analysis of Trade Policy	This class is designed for students to obtain the skills to discuss trade policies based on the standard economic theories.	2	1		○	○	○	△	○
45212	国際開発論1E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎	○	○	○	△	○
45213	国際開発論2E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎	○	○	○	△	○
45214	アジア経済史AI	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義の経済発展について再考すること目標とする。	2	1		○	○	○	○	△

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)											
以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。											
1.幅広い教養、知識、判断を持った社会で活躍する人材を養成する。 2.経済学・経営学の専門知識を持つた人材を養成する。 3.現代社会に対する強い問題意識をもつて、自分自身の力で課題を見出し、解決する能力をもつた人材を養成する。 4.高いコミュニケーション能力(外国语によるもの含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。 5.地盤社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることのできる人間性をかなな人材を養成する。											
学類の学習成果(△:学習成果を上げるために履修することが求められる科目、○:学習成果を上げるために履修することが求められない科目)											
【2018年度の入学者】次回には、国際基幹教育段階での学術的および技術力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に添えて、幅広い知識を得るとともに、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年2回の「バランス教員と面談する機会が確保されている。2年次のQ1からQ3にかけては専門共通科目群を優先的に履修しつつ、2年次のQ4からの演習教履属に向けた選択が実施される。3年次には、専門性の知識をより深めつつ、専門性の知識をもとにしたアクティブラーニングや、国際化・グローバル化のためのコミュニケーション能力を重視する演習等で、各自の興味に則して専門分野を深く理解し、実践的研究活動や論文執筆等に取り組む。演習での研究活動を通して、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3より4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一環には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。											
学類のカリキュラム											
科目番号	授業科目名(2018年度入生)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年	単位	○	○	○	○	△	○
45215	アジア経済史All	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1	○	○	○	○	△	
45216	アジア経済史B I	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1	○		○	○	△	
45217	アジア経済史 B II	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1			○		○	△
45218	日本経済史	近代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する。	1. 日本帝国主義を含む戦前日本経済の実相を理解できるようになる。 2. 事象を歴観的に捉えることができるようになる。	2	2	○	○	○	○	△	
45219	社会言語学	日常的な日本語から日本社会を見る	日本語と日本社会との関連を見る目を養うことを目標とする。	2	2	○					○
45220	対照社会言語学	対応する場面で使用される日本語と外国語を比較する。	日本語と外語の発想性の異同を分析できるようになる。	2	2	○		○			○
45300	経営管理論	経営管理論の潮流	企業において経営管理がいかに実践されてきたのか、理論と実践の両面から理解できるようになる。	2	2	○	○	○	○		
45301	人的資源管理論	日本企業の経営管理	日本企業がどのように経営管理を実践しているのか、その変遷と現状について理解できるようになる。	2	2	○	○	○	○	○	○
45302	経営情報論	企業の組織と情報	企業の組織現象を情報に注目して理解する。	2	2	△	○	○			○
45303	経営戦略論	企業経営と戦略	企業経営における戦略の役割と経営戦略について理解する。	2	2	○	○	○		△	
45304	マーケティング論	マーケティングの考え方や基礎理論を学ぶ。	企業のマーケティング活動について、基本的な理解ができるようになる。	2	2	○	○	○		○	○
45306	生産システム論	生産システムの概念を総合的視点から貢献しながら、次世代へつながる生産システムの基礎理論・手法について講義する。	1. 生産システムの概念と原理について、理解できるようになる。 2. 次世代生産システムの実現のために求められる要件について議論できるようになる。	2	2	○	○	○		○	
45306	経営工学	生産システムの運営に關わる生産管理の考え方や技法について講義した上、その実例を紹介する。	1. 生産管理の概念と基礎知識について、理解できるようになる。 2. 生産管理の扱っている諸問題を明らかにして上、その解決のための基本的な考え方や方法論について議論できるようになる。	2	2	○	○	○		○	
45307	情報分析論	情報(データ)分析の方法論	情報分析のための統計的データ解析に基づいた方法論を学ぶ。	2	2	○	○			○	○
45308	簿記会計論	簿記・会計基礎	伝統的複式簿記実践の構造と機能を理解する。	2	2	○	○	○			
45309	現代会計論	会計モデルの記述・分析	現行会計モデルの理論的枠組み、特徴、および問題点を理解する。	2	2	○	○	○			
45310	財務会計論	財務諸表の構造的理解	会計情報の外部利用者として、財務諸表について構造的に理解できるようになる。	2	2	○	○	△	○		△
45311	財務分析論	財務諸表に基づく経営分析	会計情報の外部利用者として、財務諸表に基づく経営分析が実行できるようになる。	2	2	○	○	△	○	○	△
45312	管理会計論	企業および組織の活動をコントロールするために使われる計数的手段	管理会計が、何によって、誰のために何をするのかということが理解できるようになる。	2	2	○	○	○			
45313	証券市場論	証券市場論、株式会社論	主要国(オランダ、イギリス、アメリカ、日本)の証券市場成史、国民経済と証券市場との関連について一通り理解する。	2	2	○	○	○	○	△	
45314	証券論	証券市場論、株式会社論	有価証券(株式、債券)と企業金融について理解を深める。また、発展学習である競争的買収と買収防衛策についても一通り理解する。	2	2	○	○	○	○	△	
45315	コーポレートファイナンス	コーポレート・ファイナンス	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を実習等を通して体系的に身につけることを目的としている。	2	2	○	○	○	○	○	

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	
以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。	
1. 幅広い教養、知識、判断を持った社会で活躍できる人材を養成する。 2. 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を見出し、解決する能力ももった人材を養成する。 3. 経済学・経営学の専門知識を持つた人材を養成する。 4. 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。 5. 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることのできる人間性豊かな人材を養成する。	
学類の学習成果(○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)	
【2018年度の入学者】准位には、国際基幹教育段階での勉学および桂学力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に幅広い知識を得るとともに、人材養成目標2にみるよう、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年に2回、アドバイス教員と面談する機会が確保されている。2年次のQ1からQ3にかけては専門共通科目群を優先的に履修しつつ、2年次Q4からの演習配属に向かって専門科目を修業する。3年次以降に、より知識をより深めていくため、ミカタースクール(スクールマネジメント)、国際コミュニケーションコースでは理論・実践系科目群およびクローバル実践科目群の「グローバルマネジメント」「国際マーケティング」「国際会計」「国際法務」「国際組織運営」の5科目を取得すれば、専門科目群の履修科目を原則的に履修する。演習では各自の専門分野において専門力野をより深め、実践研究活動や論文執筆等に取り組む。演習での研究活動を通して、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3および4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一環には能動的学習が導入されている。また、海外括学研修やインターンシップも単位化されている。	

### 学類のカリキュラム

科目番号	授業科目名(2018年度入生)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年	単位	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45316	パーソナルファイナンス	パーソナル・ファイナンス及びポートフォリオ理論	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を体理解できるようにする。	2	2			○	○					○				
45317	国際会計論	The basic theory of Accounting	This course is designed for students to understand basic principles of accounting for practical use.	2	2	○	○			○								○
45318	国際経営論				2	2												
45319	国際マーケティング論	マーケティングの知識を応用する	研究開発から市場までの一連の企業活動を理解し分析できるようになる。	2	2	○	○	△	○				○	○	○	○	○	
45320	地域マネジメント	地域マネジメントの事例と手法、理論を学ぶ	地域資源の発見、活用、評価という一連のプロセスを理解し分析できるようになる。	2	2	○							○	○	○			○